

NO.216

令和7年2月1日発行

3月

6月

9月

12月

定例会は年4回

市議会だより

く る め

G I K A I T I M E S

温かい すぎる 少ない おる
 楽しい 便利 安い 整う 近い 果物 よい 野菜
 しやすい 都市 適度 田舎 アクセス 医療 便 恵まれる
 通う ラーメン やきとり 交通 程よい 大きい
 暮らしやすい 街 多い 揃う
 行ける 出る 都会 食べ物 美味しい 自然 グルメ
 住む 優しい ご飯 遊ぶ 適す
 病院 豊富 豊か 耳納 焼き鳥 飲食店 比べる
 集まる 困る 暖かい 筑後川 久留米 充実 まち イベント
 できる 連山 美味しい 豚骨ラーメン 感じる
 かする 緑 いい 場所 兼ね備える 食べる
 良い 盛り上がる 過ぎる

特集

U ターンのススめ

特集

Uターンのススメ

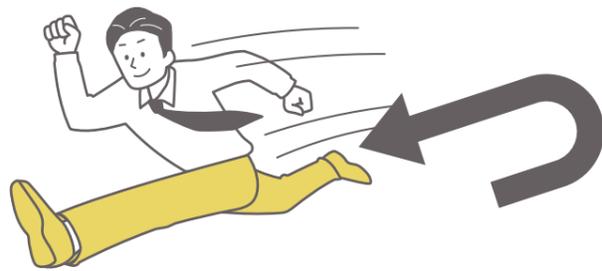
過去の特集でもたびたび触れてきた「少子高齢化」。地方は、このまま波にのまれてしまうのでしょうか？カギを握るのは若い世代。かつて、若者にとって「都会＝憧れの場所」でした。しかし最近では、生活コストやリモートワークの普及などから、この考えは変わってきています。地方でも彼らの望む生活ができるのであれば、きっと若者は帰ってきてくれる。そう、『Uターン』。「若い世代の幸せを地方で」そんな視点でUターンを考えてみました。

なぜUターンなのか？

久留米市が理想とするまちの姿のひとつが、『地域共生社会^{*1}』です。これを持続可能にするためには、一定の地域の中にあらゆる世代が万遍なく生活していることが必要です。

久留米市では、主に10歳代後半～20歳代の若い世代の転出が非常に多くなっています。内閣府の調べでは、地元を離れる動機として、大学などへの「進学」や「就職」、「文化的・経済的な刺激」などが、あげられています^{*2}。

一方で、「大学新卒者のUターン希望は62%超^{*3}」、「福岡県出身者の愛郷心は極めて高い」（下表参照）というデータもあります。それらを踏まえ、現実的に考えると、Uターンで久留米に戻って来てもらうことが有効ではないでしょうか。



ご当地県への愛着ランキングトップ10

ご当地在住者			上京者 [*]		
順位	都道府県	とても愛着を感じている	順位	都道府県	とても愛着を感じている
1	沖縄県	50.6	1	北海道	58.0
2	福岡県	43.7	2	沖縄県	56.0
3	北海道	42.3	3	大分県	52.0
4	神奈川県	40.0	4	福岡県	49.0
5	静岡県	37.0	5	広島県	48.0
6	鹿児島県	35.2	6	高知県	47.5
7	高知県	34.9	7	宮城県	47.0
8	熊本県	34.6	8	熊本県	43.0
9	石川県	33.6	9	宮崎県	39.0
10	兵庫県	33.0	9	鹿児島県	39.0



^{*}上京者：ご当地から移動し、現在は首都圏（東京、神奈川、千葉、埼玉の1都3県）に住んでいる人
出典：とーりまかしvol.78 [2024年12月]株式会社リクルート じゃらんリサーチセンター 発行から引用

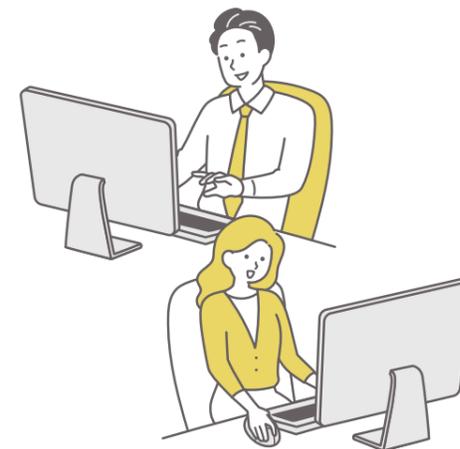
^{*1} 制度・分野の枠や、「支える側」「支えられる側」という関係を超えて、人と人、人と社会がつながり、一人ひとりが生きがいや役割をもち、助け合いながら暮らしていくことのできる社会。

^{*2} 出典：内閣府「地域の経済2020-2021」第1-1-7図 生まれ育った地域（地元）を離れた理由

^{*3} 出典：「マイナビ2025年卒大学生Uターン・地元就職に関する調査」

若者はどうやって住むところを選ぶ？

一度都会に出て、久留米市に移り住んできた人に、「なぜ久留米を選んだのか」を尋ねると、「地元（ふるさと）だから」であり、タイミングは「家族や身内のライフステージの変化（結婚・出産、子どもの就学・進学）を機に」という声が多く聞かれます。自分や家族のこれからの人生を考えるようになると、華やかさや刺激よりも、生まれ育ったまちで、ゆとりや安心、充足感を求めるようになる人が多いようです。



移住者の声

Uターンで久留米に住宅を購入して移住された方へのアンケート結果

（令和6年度くま暮らし・移住ファミリー支援事業補助金申請者アンケートデータより抜粋。令和6年11月末日時点）

対象者：20～40代 久留米市出身者48名

🏠 移住したきっかけ (TOP5)

- 1位 住宅の購入
- 2位 結婚・出産
- 3位 就職・転勤・転職
- 4位 親や子との同居・近居
- 5位 子どもの進学

🏠 久留米を選んだ理由 (TOP5)

- 1位 久留米市出身のため
- 2位 市内・近隣に親または親戚がいる
- 3位 通勤や買い物等に便利
- 4位 医療環境が充実している
- 5位 自然環境が豊か

🏠 あなたにとっての久留米の魅力 (一部抜粋)



Uターンを受け入れるには

『Uターンを希望する人が住みたいまち』を考える時に、「ふるさと」であることは大きなアドバンテージ。選択肢の1番です。でも同時に、彼らは、都会の便利さや快適さも知っています。「ふるさとなんだから帰っておいで」と言うだけでは、Uターンは難しいでしょう。若い世代にも生活という現実があります。

つまり、「都会でなくても良い」環境づくりが大事です。そしてそれは、受け入れる側がやるしかありません。そのうえで、「都会じゃないことの利点」をアピールできれば説得力倍増です。

例えば、「久留米（近郊）で働きたい（＝住みたい）のに、希望の業種や職種がないから仕方なく都会に出ていく」という声があります。また、「子どもは、自然が豊かな地方で、ノビノビ育てたい」という希望も根強くあります。若い層に久留米に定着してもらうためには『仕事』、そして『子育て支援』が重要なのです。

久留米の良さを伝えよう

あまり知られていないようですが、実は、久留米には全国トップクラスの技術やシェアを持つ、優良な企業がたくさんあります。同様に、子育て支援は、特に乳幼児期の分野で高い評価を得ています。

そういった働く場の存在や子育て支援制度など、生活に直結する受け入れ態勢の状況を、「久留米の良さ」として伝えていきましょう。SNSでも、都会で暮らす子どもたちとの電話でも。議会や市行政だけでなく、それぞれの事業所や団体、地域、家族など、様々な立場の人たちが、いろいろな場面で取り組めることです。

できれば、みんなでアイデアを出しあって、足りないものや、これから必要になるものを、補ったり加えたりもしたいものです。「住みやすいまち」であるために。

住んでいる人にも

お気づきかもしれませんが、そんなまちは、これから住もうと思っている人だけでなく、今住んでいる人にとっても住みやすいまちなのです。

議会では、Uターンの促進を切り口に、多くの議員が質問や提案を通して、誰もが安心して住み続けられるまちづくりを進めていくように促しています。今後もそういった後押しを強化していきます。

まとめ

帰って来たい人たちが、不安なく帰って来られる。ふるさとやその近郊で生きることによって幸せを感じる。人生の選択肢が広がるということでもあります。そして、そのお手伝いをするのが、自らの住みやすさにもつながる。「オール久留米」で取り組みたいテーマです。

今後、DXの進展により、移住しなくても就職や転職ができたり、在宅勤務やフレックスタイムが当たり前になれば、日中も自宅(地域コミュニティの中)に若い人たちがいるようになることも考えられます。そうなれば、地域(自治)活動やボランティアなどへの参加につながるでしょう。

それは、久留米が目指す『地域共生社会』が実現に近づくことを意味します。ご近所での信頼関係が生まれ、市民同士が助け合うことで、安心と余裕のある生活が日常になる。それはきっと、少子高齢化の課題を乗り越えるための切り口のひとつになることでしょう。



令和6年 12月定例会

小学校統合に伴う 小学校設置条例の改正などを可決

主な審議事項

- 小学校設置条例の一部改正、奨学金条例の一部改正
- 令和6年度一般会計補正予算(第5号)
 - ・季節性インフルエンザ等の感染症の流行による子ども・ひとり親家庭等医療費不足額の補てん、農業経営の効率化のための設備・機械整備費用の支援など
- 市民センター多目的棟、北野複合施設、野中生涯学習センターの指定管理者の指定など



議案の議決結果と賛否の状況はP7へ ➡

12月定例会の経過 会期 11月28日から12月18日の21日間

- 第1日**
▼ 11月28日
 - 会期の決定(21日間)
 - 市長から一般会計補正予算(第5号)など24議案の提案説明
- 第2日～第5日**
▼ 12月6日～11日
 - 一般質問(P8～9へ)
 - 議案の質疑、各常任委員会へ議案を付託
- 常任委員会**
▼ 12月12日・13日
 - 総務・教育民生・経済・建設の4常任委員会で議案を審査(P6へ)
- 第6日**
▼ 12月18日
 - 一般会計補正予算(第6号)が追加提出され、市長から提案説明
 - 追加議案を総務・教育民生の2常任委員会に付託し、議案を審査
 - 追加議案を含む各常任委員会の議案審査結果を報告、全ての議案を可決
 - 請願の審査結果報告の後、不採択
 - 人事議案1件が追加提出され、市長から提案説明の後、議案に同意

請願の審査結果

件名	結果
請願第1号 久留米市第3次公立保育所運営再編計画(案)について	不採択*

* 不採択・・・市議会として請願に賛同する「採択」に対し、賛同しないことを「不採択」という。

同意した人事案件

市長が任命、選任または推薦する人事で、議会が同意した案件です。

- 固定資産評価審査委員会委員 高山 芳男 内藤 恵美子

* 敬称は全て省略しています。

pick UP! 議案審査の概要

市長から提出された議案を、それぞれ所管の常任委員会で詳しく審査しました。主な議案審査の内容をお知らせします。

総務常任委員会

可決

職員給与条例等の一部を改正 (第117号議案)

人事院勧告※1を踏まえ、職員の給与や諸手当を社会と公務の変化に対応したものにすため、条例の一部を改正するものです。

審査の中で、こんな質問をしました

Q 今回の給与改定で、地域手当※2を支給しようとする理由は。

A 地域手当の支給が市町村の人材確保に影響を与えているため、国は都道府県を単位とした支給方法に見直した。本市も主に人材確保の理由から、国の決定に準じ、令和7年4月から地域手当を支給したいと考えている。

教育民生常任委員会

可決

中央学校給食共同調理場の包括的な委託契約締結 (第113号議案)

中央学校給食共同調理場での給食調理や配送などの運營業務、建物や設備などの維持管理業務を包括的に委託するため、事業者と契約を締結しようとするものです。

審査の中で、こんな質問をしました

Q 今回の契約には施設改修等の工事費が含まれるが、昨今の物価高騰により建設資材や人件費が増加した場合、どのように対応するのか。

A 今後も物価上昇が予想されるため、建設物価建築費指数※3などの指数が変動した場合は、次年度の委託料を変更した額で支払う契約としている。

経済常任委員会

可決

金属水銀流出事案に関して敷地内の土壌入れ替え等の費用の増額 (第106号議案)

金属水銀が流出した旧水道施設の敷地内の土壌汚染の調査や建物基礎等の解体、土壌入れ替えなどを行うために、約1億1,282万円を増額補正するものです。

審査の中で、こんな質問をしました

Q 地域の住民説明会を12月に開催するが、広く市民にも伝えるべきではないか。

A これまでの調査結果や専門家による検証委員会での意見を踏まえ、市民の不安を払しょくし、間違った情報が伝わらないよう、対応状況について公表していきたい。

建設常任委員会

可決

スマートIC整備に係る費用の増額 (第103号議案)

スマートインターチェンジの整備に向け、市道の測量及び設計を行うために、4,400万円を増額補正するものです。

審査の中で、こんな質問をしました

Q スマートインターチェンジを整備するにあたり、住民説明会で出された意見などから、今後想定される問題点はあるか。

A 住民説明会では、近隣県道の渋滞を心配する声があった。県の所管ではあるが、市としても詳細な調査を行い、国や県と連携して対応を協議していきたい。

※1 人事院勧告・・・国家公務員の給与水準を、民間企業従業員の給与水準と均衡させることを基本に、人事院が国に対し勧告を行うこと。

※2 地域手当・・・地域による物価の差を補填するための手当のこと。民間の賃金水準を基礎とする。

※3 建設物価建築費指数・・・建築工事の価格の変動を明らかにすることを目的に作成されている物価指数。一般財団法人建設物価調査会が定めている。

常任委員会の録画映像を配信中

久留米市議会では、常任委員会で終わっている議案の審査や所管事務調査※の録画映像をYouTubeで配信しています。開催日のおおむね1週間後から見る事ができます。ぜひ、ご視聴ください。

※ 所管事務調査・・・委員会が所管する市の部局の施策や課題について調査すること。



久留米市議会
公式YouTubeチャンネル

議案・請願の議決結果

全員賛成で可決・同意した議案

令和6年12月18日議決分

- 第104号議案 令和6年度久留米市卸売市場事業特別会計補正予算(第1号)
- 第105号議案 令和6年度久留米市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)
- 第106号議案 令和6年度久留米市水道事業会計補正予算(第1号)
- 第107号議案 久留米市市民センター多目的棟の指定管理者の指定について
- 第108号議案 久留米市城島保健福祉センターの指定管理者の指定について
- 第109号議案 久留米市北野複合施設の指定管理者の指定について
- 第110号議案 久留米市生涯学習センター等の指定管理者の指定期間の延長について
- 第111号議案 久留米市野中生涯学習センターの指定管理者の指定について
- 第112号議案 久留米市体育施設(三瀨・城島地域)の指定管理者の指定について
- 第113号議案 久留米市中央学校給食共同調理場維持管理運営包括委託事業業務委託契約締結について
- 第114号議案 市道路線の廃止について
- 第115号議案 市道路線の認定について
- 第116号議案 カーブミラーの倒壊事故による損害賠償の調停の申立てについて
- 第118号議案 久留米市母子生活支援施設条例を廃止する条例
- 第120号議案 久留米市奨学金条例の一部を改正する条例
- 第121号議案 久留米市複合アグリビジネス拠点施設条例の一部を改正する条例
- 第122号議案 久留米市特定地域浄化槽の整備に関する条例の一部を改正する条例
- 第123号議案 久留米市手数料条例の一部を改正する条例
- 第124号議案 久留米市営住宅条例の一部を改正する条例
- 第125号議案 久留米市都市公園条例の一部を改正する条例
- 第126号議案 久留米市特定都市河川浸水被害対策法施行条例
- 第127号議案 令和6年度久留米市一般会計補正予算(第6号)
- 第128号議案 久留米市固定資産評価審査委員会委員の選任について



12月定例会での採決

賛否が分かれた議案・請願

議案名	会派名								議決結果
	久留米 たすき	きずな	公明党	立志会	みらい 久留米	緑水会	日本 共産党	日本 維新の会	
令和6年12月18日議決分									
第103号議案	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
第117号議案	○	○	○	○	○	○	×	×	可決
第119号議案	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
請願第1号	×	×	×	×	×	×	○	×	不採択

会派名の()内の数字は所属議員数です。ただし、きずな議員団は議長を除きます。議長は表決に加わりません。

賛成は「○」、反対は「×」、退席は「退」と表記しています。

会派名: 久留米たすき(久留米たすき議員団)、きずな(きずな議員団)、公明党(公明党議員団)、立志会(立志会議員団)、みらい久留米(みらい久留米議員団)、緑水会(緑水会議員団)、日本共産党(日本共産党久留米市議員団)

久留米たすき: 欠席者が1人いたため、表決に参加したのは6人



議員個人の賛否の状況はホームページでご覧いただけます

検索

久留米市議会
「議案と結果」

ここが知りたい 一般質問 個人質問

【個人質問とは?】議員個人が議案以外の市政について行う質問のことをいいます。12月定例会で行った質問の一部を紹介します。

緑水会 健康・福祉

Q 団塊の世代^{※1}が75歳以上となる2025年問題^{※2}に対し、今後どう取り組むのか
A 高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、今後も地域での支えあいなどの包括的な支援体制づくりや医療と介護の連携の強化を図っていく。併せて、介護事業や認知症対策などの取り組みを、さらに進めたい。

その他の質問…小・中学校遊具の安全管理など

公明党 健康・福祉

Q マイナ保険証^{※3}の利用率向上には、紐づけ誤り^{※4}の不安払拭が必要。対応は
A 本市は、基本情報^{※5}を住民基本台帳に基づき確認しており、誤った登録は発生していない。今後も十分な広報を行い、国へ継続的にマイナンバー制度の安全かつ安定的な運用を要望するなど、利用向上に取り組む。

その他の質問…市立学校に整備された端末の適切な処分とデータ消去に対する認識など

みらい久留米 防災・安全

Q アプリを活用した、道路、公園、河川に関する通報システム導入の考えは
A アプリを導入すると、通報手段の拡充や事務効率化につながる。都市施設^{※6}の適切な維持管理に向けた「包括的民間委託^{※7}」を検討しており、その中でアプリの必要性についても整理していく。

その他の質問…そよ風ホールの復旧に向けての取り組みなど

みらい久留米 防災・安全

Q シニアカー^{※8}の利用が増加している中、安全な乗り方の啓発や今後の取り組みは
A 警察や販売店などと連携し啓発を行う。また、出前講座などで関係部局が連携し広く注意喚起を図る。セーフコミュニティでも、事故の発生状況など、データの収集・分析を行い、効果的な啓発に取り組む。

その他の質問…地球温暖化対策への取り組みなど

きずな 教育・子ども

Q 小・中学校給食における物価高騰の影響とその対応は
A 食材価格が上昇する中、審議会^{※9}から「子ども達に相応しい給食を提供するため給食費の増額改定が望ましい」と答申を受けた。一方で、家計への配慮も重要。国の経済対策の動向も踏まえ、支援も検討する。

その他の質問…令和5年7月大雨への対応など

日本維新の会 教育・子ども

Q 小・中学校の不登校児童生徒がフリースクール^{※10}を利用する際の経済的支援の検討状況は
A フリースクール利用者への経済的支援を実施している自治体から「保護者からは、自治体の支援自体が心理的な不安軽減につながる」と聞いている。他自治体の取り組みを参考に検討を進めたい。

その他の質問…学童保育事業における支援員確保、高学年受け入れなど

久留米たすき 教育・子ども

Q 養育費確保に向けて、一步踏み込んだ市独自の支援策を実施できないか
A 新たな養育費制度^{※11}で、養育費が確保しやすくなると考えている。国の制度運用の検討状況をみながら、その周知を行うとともに、現在行っている支援策にしっかりと取り組んでいきたい。

その他の質問…自宅における不登校児童生徒への対応など

立志会 教育・子ども

Q ICTを活用した、小・中学生の「心の健康観察」の今後の展望は
A 心の変化を記録するアプリを、小学校2校で試験活用している。教員の積極的な声かけや児童からの相談につながるなどの効果がある一方で、入力時間等の課題もある。今後、校長会とも連携して展開していきたい。

その他の質問…小・中学生の不登校対策と支援に係るフリースクールの役割など

立志会 行財政

Q 令和7年は合併^{※12}20周年を迎える。記念式典を実施し、市全体の一体感を醸成しては
A 今後の発展のためには、多くの市民と合併後の成果や課題を共有し、市全体でこれからのまちづくりについて考える必要があると認識している。その方法については、議会などに相談しながら検討していきたい。

その他の質問…带状疱疹ワクチン接種費用の助成など

久留米たすき 環境・ごみ

Q 再生可能エネルギー^{※13}推進のため、家庭用蓄電池設置への補助制度の追加導入の見解は
A 令和3年度にZEH^{※14}への補助金を創設し、従来の機器単独導入から、太陽光発電と蓄電池の同時導入へ支援を見直した。今後、どのような支援が効果的かという観点で住宅の脱炭素化促進に引き続き取り組む。

その他の質問…電力入札の目的や現状など

久留米たすき まちづくり・暮らし

Q 生活排水を処理する個人設置型浄化槽は、災害・更新時の個人負担はどうなるのか
A 災害・更新時、個人設置型は個人負担となる。事業の違いによる個人負担の差は理解しており、補助対象の拡大に向け、今後も国に要望していく。なお、生活排水処理については、令和6年3月事業を見直し^{※15}している。

その他の質問…JR久大本線田主丸駅の南側改札の設置など

公明党 まちづくり・暮らし

Q 全国的に不足しているタクシー乗務員確保のため、市はどう支援していくのか
A 県が実施するPRなど、確保に向けた取り組みに協力していく。多くのイベントを開催することで、人、物、車が動き、タクシー利用者が増え、そのことが乗務員の確保にもつながるため、今後も取り組んでいく。

その他の質問…不登校で自宅学習をしている児童生徒の成績評価など

日本共産党 まちづくり・暮らし

Q 県営住宅の建て替えが進んでいる。市営住宅も連動して整備計画を示せないか
A 建て替えには、莫大なコストがかかる。今後、民間の空き家の増加も見込まれるなか、将来の在り方を示すには、市全体の状況を考え、民間活力の活用など総合的な検討を行う必要があると認識している。

その他の質問…市立図書館と学校図書館との連携など

一般質問は、久留米市議会ホームページの「インターネット議会中継」でご覧いただけます。また、過去4年分の録画映像を見ることができ、議会の日程や議員の名前、キーワードで検索できます。議会中継(録画)



※1 団塊の世代
戦後の第1次ベビーブーム(主に昭和22年から昭和24年まで)に生まれた世代。他の世代と比べて人口が多い。

※2 2025年問題

2025年(令和7年)に、団塊の世代がすべて75歳以上の後期高齢者となる。日常的な生活支援や医療・介護が必要な高齢者の増加、労働力人口の減少などの様々な問題が予測されている。

※3 マイナ保険証

健康保険証として利用登録をしたマイナンバーカード。

※4 紐づけ誤り

健康保険証とマイナンバーを紐づけする際、別人の情報と誤って紐づけられたケースの発覚を国が公表。国は、対策として、不一致データの確認作業を行い、令和6年5月に新しい入力チェックシステムの運用を開始した。

※5 基本情報

カナ氏名、生年月日、性別、住所の4つの情報。

※6 都市施設

道路、公園、河川など、都市での生活を支え、市民の日常生活に必要な公共的な施設。

※7 包括的民間委託

民間事業者が持つノウハウなどを活用し、効率的・効果的に運営できるように、複数の業務や施設をまとめて委託業務を発注すること。

※8 シニアカー

高齢者向けの三輪または四輪の一人乗り電動車両。道路交通法上は歩行者扱いとなるため、車道ではなく歩道を通行する。

※9 審議会

「久留米市学校給食運営審議会」のこと。教育委員会の諮問に応じ、学校給食費に関することなどについて調査審議し、意見を答申する。市の附属機関。

※10 フリースクール

不登校の児童生徒に、学習活動、教育相談、体験活動などの活動を行っている。民間が運営している。

※11 新たな養育費制度

公正証書や調停調書などの公的機関の文書がなくても、養育費の取り決めの際に父母間で作成した文書に基づき、差押えが可能となる。また、離婚の際に養育費の取り決めをしていなくても、一定額の「法定養育費」の請求も可能となる。令和6年5月の民法等の改正で規定(2年以内に施行)。

※12 合併

平成17年2月5日に久留米市、田主丸町、北野町、城島町、三猪町の1市4町が合併。

※13 再生可能エネルギー

太陽光や風力、水力といった、自然界に常に存在するエネルギーのこと。

※14 ZEH

ZEH(ゼッチ)とは、「Net Zero Energy House」の略。家庭での使用エネルギーと太陽光発電などで作り出すエネルギーの年間の収支をゼロにすることを目指した住宅。

※15 事業を見直し

「生活排水処理基本構想」の見直しのこと。「公共下水道」区域を縮小し「合併処理浄化槽」への変更などの見直しを行った。人口減少に伴う収益減少や、令和4年度以降の下水道整備への国交付金の大幅削減などが理由。

常任委員会 活動レポート

常任委員会では、議案の審査だけでなく、市民生活に深く関わることを調査研究する所管事務調査や、市民などから市議会へ要望等を申し出るために提出された請願の審査などを行っています。

今回は、10・11月の常任委員会の活動状況をお知らせします。

常任委員会の録画映像をYouTubeで配信しています。その録画映像にリンクするQRコードを掲載しています。ぜひご視聴ください。

総務常任委員会

安全安心の取り組み

市民や事業者、警察等と連携した交通安全や防犯、暴力追放の取り組みについて、安全安心推進課から説明を受けました。



Q 市内での飲酒運転検挙数が多い理由は。キャンペーンの手法を見直すべきでは。

A 理由としては、飲酒運転が重大な事故につながることへの理解が足りないためだと思う。飲酒運転防止を呼びかけるキャンペーンは、警察とも連携し、駅周辺だけでなく、繁華街の飲食店を訪ねるなど、より効果的な飲酒運転防止に取り組んでいきたい。

その他のテーマ▶ 公共工事の発注

経済常任委員会

「田主丸ふるさと会館」の現地調査

耳納北麓エリアの観光動向や、民間事業者が新たな指定管理者となった田主丸ふるさと会館を活用した取り組みについて、観光・国際課から説明を受け、現地調査を行いました。



田主丸ふるさと会館2階 カフェスペース

※1 公立保育所運営再編計画・・・「久留米市第3次公立保育所運営再編計画」今後の公立保育所の運営指針となるもの。少子化が進むとともに、財源や保育人材に限られる中で、将来にわたり市の保育環境の充実を図るために策定。令和8年度に白峯保育園、荒木保育園の2園を民間移譲する。

※2 紹介議員・・・請願の趣旨に賛同する議員のこと。久留米市議会では市民等からの請願提出の際に1人以上の紹介議員が必要。

※3 包括的民間委託・・・国交省から示された新たな管理手法で、受託した民間事業者が創意工夫やノウハウの活用により、効率的・効果的に業務を実施できるよう複数の業務や施設をまとめて委託すること。

教育民生常任委員会

公立保育所運営再編計画※1についての請願

公立保育所の民間移譲の撤回等を求める請願について、紹介議員※2や子ども未来部から説明を受け、委員会としての結論を出しました。



委員間の討議では、「保護者や子どもたちの不安軽減のため、移譲後5年間は公私連携協定による市の関与や、市と移譲先法人、保護者との三者協議会も設置予定のため異論はない」「支援が必要な子どもの受入れは公立が担ってきた部分もあるが、移譲の際にはそうした子どもも受け入れるという応募条件がある。今後の取り組みに期待したい」などの議論がありました。委員会での採決の結果、請願は不採択となりました。

その他のテーマ▶ 小学校の小規模化への対応、母子生活支援施設

建設常任委員会

土木施設の維持管理

市の道路や河川、水路等、土木施設の維持管理の状況や課題について、公園土木管理事務所から説明を受けました。



Q 道路の陥没や水路のしゅんせつなど、対応範囲が多岐にわたり、対応件数も非常に多い状況である。国が示す包括的民間委託※3についてどう考えているか。

A 包括的民間委託にはメリットもあると考えるが、市に合った活用をしなければ逆効果となる恐れもある。先行事例を参考に、メリット・デメリットを調査し、検討していきたい。

その他のテーマ▶ 不法投棄防止の取り組み

TOPICS

調査特別委員会の行政視察

「歳入確保調査特別委員会」と「生活支援交通・買物問題調査特別委員会」では、専門家やまちづくり振興会などとの意見交換を行うとともに、他自治体を視察し、先進事例の調査・研究を進め、委員間で議論を深めてきました。

今後、市長への提言に向けて、委員会の調査結果を取りまとめる予定です。



姫路市姫路視察の機内

委員会名	期間	視察先	視察の主な内容
歳入確保調査特別委員会	11月11日～12日	香川県高松市	債権管理条例及び債権の適正管理方針、市民税の現状・収納率向上の取り組み
		大阪府吹田市	市税の収納率向上に向けた取り組み
生活支援交通・買物問題調査特別委員会	11月11日～12日	大阪府河内長野市	地域公共交通の取り組み（コミュニティバス、乗合タクシーなど）
		兵庫県姫路市	



視察報告書

飲酒運転を根絶するために



窪田 仁彦講師

12月18日、福岡県飲酒運転撲滅活動アドバイザー 窪田仁彦(くぼたよしひこ)氏を講師に招き「飲酒運転根絶!のためお酒の正しい知識を持ちましょう」をテーマに議員研修会を開催しました。

酔いのメカニズムなどアルコールが身体に及ぼす影響を学ぶことができ、飲酒運転がいかに危険であるかを改めて認識。

久留米市議会は決意を新たに、飲酒運転の撲滅に取り組んでいきます。

佐藤議員に総務大臣から感謝状

市議会議員として35年間にわたる功績が認められ、10月21日、総務大臣から佐藤晶二議員に感謝状が贈られました。

11月28日の本会議終了後に、議会と執行部で長年のご貢献をたたえました。



吉富議長、佐藤議員(右)

